

# 国際交流事業の促進

中華人民共和国広西壮族自治区・アメリカ合衆国モンタナ州と姉妹提携成る



日中友好熊本県青年の翼で中国へ向かう青年達。

## ○国際交流の必要性

我が国は、戦後めざましい経済発展を遂げ、今や世界のGNPの約一割を占め、米ソ両国に次ぐ世界第三位の経済大国になりました。しかし、他の先進諸国と異なり、資源の少ない我が国は、食糧、エネルギーなど重要な資源のほとんどを海外に依存しています。つまり、我が国は、外国から資源を輸入し、それを加工し輸出するという経済の循環によりその繁栄が築かれていると言っても過言ではありません。

## ○強まる相互依存関係

さて、このような現状で、経済大国となった我が国が、今日、諸外国に対し大きな影響を与え得る存在となつていいることは紛れもない事実です。今日、世界は相互依存関係をますます深めてきています。このような中で、我が国に対して、その国際的地位にふさわしい責任と役割を果たすことが求められています。開発途上国からの経済、技術援助の要請、とりわけアジアにおいては先進国である我が国に対し、熱い視線が注がれており、その果たす役割には、大きな期待が寄せられています。また一方では、このような期待とともに、米国やEC諸国等先進

諸国から、貿易不均衡の問題に端を発する様々な問題も投げかけられています。諸外国との相互依存体系の中で、これらの諸問題にいかに対応し、世界各国との緊密な関係を維持し協力を図っていくかは、我が国に課せられた今後の大きな課題です。

## ○地方の時代における国際交流

これまで我々には、外交は国即ち政府が行うべきものであるという認識がありました。確かに、その根幹は政府によって形成されるものです。しかし、外交が円滑に進められるためには、その基盤としての国民間の相互理解は、欠くことのできない重要な要素の一つです。私達が外国を知り、また外国の人達に日本を知ってもらうことは、大変難しいことだと言われています。そして、このためには、双方の国民が、互いに肌で接し、対話をし、理解を深める努力をしなければなりません。国民一人一人が、このような考え方のもとに、それぞれの場(地域)つまり、日常、学び働く生活の場において、地道な努力をしてはじめて、真の相互理解の糸口が切り開かれるものだと思います。従つて国際交流は、むしろ各地方やその住民の手で行われなければならないのです。

## ○熊本の国際交流

このように地方における国際交流が、必要とされる中で熊本に住む私達は、どのような対応をしなければよいのでしょうか。

熊本県は、明治以来の移住の先進県であり、これまで中南米、アメリカ合衆国を中心に多くの人達が海外に雄飛しています。そしてこれらの人達は、諸外国との交流の架け橋として、大きな役割を果たしてきました。また地理的な面から、中国、韓国、東南アジアなどの古い交流の歴史をもっています。しかし今日の状況にふさわしい国際環境ということになると、まだまだこれからその醸成を図っていく必要があります。

このようなことから、熊本県では、一九八〇年代総合計画の中で「国際交流の促進と優れた国際人の育成」を主要施策の一つとして掲げ、国際交流促進のための環境づくりを行い、国際交流活動の積極的な展開を図ることとしています。このため、特に本年度は、その環境づくりの一環として、中国広西壮族自治区、米モンタナ州との間に姉妹提携を結びました。

## ○姉妹提携とは

すべての国は、それぞれに異なった歴史をもち、その歴史を背景として、多種多様な独自の文化、生活様式、国民性を築き上げてきました。この異文化の中に生活する国民が互いに国境を越えて、日常生活のレベルにおいて相互に交流を行い、理解を深め合うことのできる環境(機会)を提供するのが姉妹提携です。

姉妹提携は、双方の代表者が協定を結んでスタートします。しかし、交流の主体は、そこに居住する双方の住民です。姉妹提携により、双方は、自発的、積極的に人物交流、文化交流、スポーツ交流など様々な交流を行います。そして、これらの相互交流を通じて、相互理解を深

めるとともに、両国間の友好親善と繁栄、ひいては世界の平和に貢献しようとするものです。

姉妹提携にかかる一般的に行われている交流事業の具体的な例としては、次のようなものがあります。

- 一、児童・生徒の作品、一般市民の絵画・写真・映画、その他の作品の交換
- 二、学校間(幼稚園から大学まで)の提携、それらの間での手紙・印刷物・スポーツ、その他諸記録等の交換
- 三、美術品・民芸品、その他土産品や動物等の相互交換
- 四、教師・学生、その他青少年などの交換交流
- 五、経済的関係を強化するための貿易見本市、物産展等の開催
- 六、青年会議所・ロータリークラブ・ライオンズクラブ等の交流

このように、交流は、双方の協議により様々なものが可能ですが、最近では、学校提携を通じて、カリキュラムの交換や学生・生徒・教職員の交換等の教育交流、また、主として開発途上国に対しては、姉妹提携を通じて各種技術援助を行うケースなども多くなっています。

## 広西壮族自治区との姉妹提携

熊本県と中国広西壮族自治区との友好県区提携は、一九八一年九月、中日友好協会の孫平化副会長が、本県を訪問された際に提案があり、これを契機として双方の話し合いが進められました。その後、熊本県からは青年団による友好の翼が自

**'Good place!' Japanese visitor says of Ronan**

「Ronan」は、モンタナ州の美しい自然と、温かい人々の歓迎に感銘を受けた。訪日客は、この素晴らしい環境と、国際交流の重要性を再認識した。

**Japanese Student Hosted By Ted Decker Family**

熊本の高校生、田中君が、モンタナ州のデッカー家にてホームステイを体験した。この経験を通じて、異文化理解を深め、国際交流の大切さを学んだ。